

新斎場施設の概要（「新上越斎場建設事業整備方針（案）」より）

項目	内容
建設予定地	上越市大字居多地内（現上越斎場から市道を挟み西側の土地） ※現斎場建物及び敷地については、解体後、臨時駐車場や緑地等に整備を予定している。
敷地面積	約13,300 m ² （新斎場建設予定地8,000m ² 、現斎場敷地5,300m ² ）
火葬炉	6基程度＋動物炉1基
主な施設機能	待合室、多目的室、告別室、収骨室、待合ホール、キッズコーナー（幼児遊び場）、授乳室等
延床面積	約2,000～3,000m ² （予定）
供用開始時期	令和6年度（2024年度）中の供用開始を見込む。
その他	上記は平成30年12月時点の内容であり、他市の斎場建設事例や参考文献などから設定したものであるが、その後の検討内容により、令和元年7月頃を目途に新施設の炉数、施設規模、機能の詳細を決定する予定としている。

新上越斎場建設に向け、民間活力導入可能性調査へ

注目の上越斎場の改築ですが、これに係る基本構想の策定に当たり、民間活力の導入の可能性を調査し、適切な事業手法を見出すことを目的に、民間活力導入可能性調査業務委託事業者の募集がはじまりました。

選考は、適切な業務遂行能力を有した委託事業者を選定することを目的として、公募型事業者選定方式（プロポーザル）で行われます。審査は今年8月9日、委託期間は契約の日から来年の3月13日まで、となっています。



【シャシャンボ】ツツジ科の常緑小高木。漢字で、「小小坊」と書きます。7月上旬、柿崎区百木で初めて出合いました。何よりも花の咲き方がめずらしく、カメラに収めました。花の形は壺状でドウダンツツジとそっくりでした。花のあとには実がつくはずですが、どんな味が食べてみたいものです。

路線バス、一定基準以下の路線は廃止などを検討へ

前号の交通政策調査特別委報道の続報です。次期総合公共交通計画の検討状況と再編の方向性についてお知らせします。

市では高校生アンケートなど各種アンケート、バスの乗降調査、町内会長、民生委員などの聞き取り調査を行うとともに、それを踏まえ、バス路線の再編の基本的な考え方を示しました。

これらの調査では、①70歳以上の高齢者でも、約8割は自家用車により移動、公共交通（鉄道、バス、タクシー）利用は10.9%であること、②免許のない人は、家族等による送迎と公共交通による移動がほぼ半々であること、③バスの利用者は、小中高生と大学生を合わせた学生が41.4%で最多、次いで一般が27.6%、高齢者が26.4%であること、④公共交通を利用して通学する生徒（冬期）は、鉄道が1,732人（48.7%）、バスが379人（10.7%）であり、バスの運行が改善すれば利用する（継続を含む）と回答した生徒は768人（21.6%）に上ることなどが明らかにされました。

路線バスの再編の基本的な考え方については、

まず、(1)市民の移動手段の確保について、

①調査で把握したニーズを踏まえ、地域

住民とともに、「乗ってもらえる公共交通」のための見直しを行い、市民にとって利便性の高い移動手段を確保する。②公共交通の導入を行わない地域や路線を廃止する地域においては、互助による輸送への支援やタクシー等の配布等により、自助・互助による市民の移動手段を確保する、としています。

(2)効率性の向上について

①効率性を向上させることにより、最少の経費で最大の効果を挙げる公共交通とする。②「乗らなければバスがなくなる」という現状を地域住民と共有し、路線の利用状況を踏まえ、一定の基準を下回る路線については、より効率的な運行形態への転換、更には路線バスの廃止、互助による移送サービスへの転換を含めた見直しを検討するとしています。次号でさらに報告します。



はしづめ法一の活動レポート

No.1917 2019.7.14
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見え方」はこちら


春よ来い

第五六五回

買い物したい

買い物できるチャンスは一年に五、六回しかない。そうした場合、あなたならどうされるでしょうか。

母にとって、上越病院への通院日は、まさにそのチャンスです。病院で会計を済ませ、薬が出るのを待っている時間帯あたりから考えているのでしょう、玄関口で車に乗るやいなや、「とちや、あるん、いかんが」と声をかけてきます。

先日の眼科定期診断のときもそうでした。薬が出たのは正午をまわっていました。急いで家に帰りたいと思っているところで、「とちや、あるん、いかんが」ときました。

前にも急いでいて、買い物をせず、まっすぐ家に帰ったことがあったのですが、そのときの母のさびしそうな顔を思い出したら、断るわけにはいきませんでした。

母が「あるん」というのは、JAえちご上越の農産物直売施設のことです。一年ほど前に、病院のすぐ隣から少し離れた場所へと移転し、販売スペースも広くなりました。

この日もお昼休みの時間帯だというのに大勢のお客さんと賑わっていました。

入り口のところへ行って、買い物かごを取ったのですが、すぐ近くにそのカゴを載せる押し車がありましたので、それを使いました。「あるん」では初めてです。

すると、その押し車の横棒に母がつかまり、押し始めました。たぶん、どこかで使ったことがあるのでしょうか、慣れた雰囲気の中で移動はじめました。

母に「おまん、何、買いたい」とたずねると、「わからん」という言葉が返ってきました。これには、笑ってしまいましたね。病院の待合室で時間があつたのですから、そのときに考えておいてくれればいい

のに、と思ったのですが、口には出させませんでした。

ちよっと間をおいて、母が「サツマイモ」と言ったので、まずはサツマイモをめざしました。やっと、売っている場所を見つけると、母は「紅はるか」(サツマイモの品種名)を一袋、かごの中に入れてました。「そんがにいらんがねが」と言ったのですが、母は聞こえなかったようです。

続いて、何か買いたいものがあるかないか、移動しながら、右を見たり、左を見たり……。こうして、母が手をのばしたのはザラメ(中双糖)、ニンジン、「篠宮の麩」、冷やし中華などです。私が、「いるが」と声を出すと、「いる」。いずれも、母の頭の中では、何か料理することをイメージしているものばかりなのでしょう。

この日、「あるん」で母が購入したものは、私が購入したお寿司などを含めて二千八百円ほどになりました。

これらの中には、わが家の冷蔵庫などにあるものも入っているのでは思ったのですが、家に帰って、「冷やし中華」などをしまおうとしたら、案の定、ニンジンなどが入っていました。でも、母が満足そうな顔をしていましたので、「これでよし」ということにしました。

母の様子を見てみると、「何かを買いたい」というよりも「自分で買い物してみたい」という願望が強くあるようです。この願望は年齢関係なしですね。

この日は、病院で大島区竹平出身のヨミさんの娘さんから声をかけていただき、病院に来ていたヨミさんと母との出会いが実現しました。

病院で同郷の人と懐かしい話ができたし、大好きな買い物もできた。母にとってこの日は、とてもいい日になりました。

吉川区で15回目の体育祭

みんなで楽しく、元気に

吉川区体育祭が6日、吉川体育館などで開催されました。区体育祭は15回目(吉川町時代から通算で57回目)、今回は「信頼、交流、支え合い」の3つをスローガンに取り組みました。

開会式の後、吉川小学校のマーチングバンドの演奏が披露され、約2時間半にわたって、玉入れ、つなひきなどおなじみの競技が行われました。私は観戦のみの参加でしたが、それでもたくさんの参加者の皆さんと交流できました。参院選で激励を受けたり、近況を出し合ったりしました。子どもたちのスポーツ環境整備で動いてほしいと要請もされました。

写真は玉入れとゲートボールの競技写真です。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月3日(水)	7月10日(水)
上越南消防署	0.040	0.047
上越北消防署	0.053	0.053
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.043	0.050
頸南消防署	0.060	0.070
東頸消防署	0.057	0.057
高士分遣所	0.047	0.043
名立分遣所	0.043	0.053